					1 1000	評価表	.,				
	後期	高齢者医療費賃	負担金に要	要する網	圣費		会計一般	款 3 1		多額経費	
政策	11誰もが仮	建康に暮らせる!	生涯福祉神	仕会を	つくりま	す	担当課室	保険年	金課	ļ	
施策	115	安心して暮らせ	る社会保	障の充	実		担当課室長	井上	知子		
- 改善内容(=	=事務事業をよ	り良く実施する	ための方き	策)			•				
高齢者の医療	寮の確保に関す	⁻ る法律第98	③平成 度に取	人間片	ック費	用助成	助成事業などを新規				
条により、市	療の確保に関する法律第98 町村負担金を納付した。										
	W女 I										
対象										心し	
事業の概要			或連合が?	テい、市	がは医療	寮費の	去定負	担割合	の12	2分	
③環境分析(事業開始 からの状況変化や今後の 見込み・市民意向など) 平成20年4月後期高齢者医療制度が創設されたが、年々被保険者数が増加し市							/市				
8事業の成果や	やコストの状況										
①平成28年度の事 業の成果 単一事務事業の成果やコストの状況 ①平成28年度の事 業の成果 単一の表記では、高齢者の医療の確保に関する法律第98条により決まっている が、必要な負担金を確保し、市町村負担金を納付した。											
							によりえ	夬まって	いる	た	
	め、必要な負担 指権	目金を確保し、市 票名称	可村負担	金を組				算定根		た	
i ii	め、必要な負担 指権	旦金を確保し、市	可时村負担 平成26	金を約 平成27 年度	中 中成28 年度	0	業務軍	算定根		た	
i ii iii	め、必要な負担 指権 決算見込程	型金を確保し、市 票名称 額÷受給者数	7町村負担 平成26 年度 55	型金を約 平成27 年度 59	中付した 平成28 年度 58	単位 千円	業務耳	算定根 又得	拠		
i ii iii 事業のコスト	め、必要な負担 指権 決算見込額 平成27年度決算	型金を確保し、市 票名称 額・受給者数 平成28年度決算	7町村負担 平成26 年度 55 平成28年	平成27 年度 59 度決算	中付した 平成28 年度 58	単位 千円 計)の主	業務耳	算定根 又得	拠 年度	予算	
i ii iii 事業のコスト 千円)	め、必要な負担 指権 決算見込程	型金を確保し、市 票名称 額÷受給者数	下村負担 平成26 年度 55 平成28年 金額(干	金を糸 平成27 年度 59 度決算	中 中 中 成28 年度 58 (事業費	単位 千円 かの主	業務軍な内訳	算定根 又得	拠 年度		
i ii iii iii 事業のコスト 千円)	め、必要な負担 指権 決算見込額 平成27年度決算	型金を確保し、市 票名称 額・受給者数 平成28年度決算	下村負担 平成26 年度 55 平成28年 金額(干	金を糸 平成27 年度 59 度決算	中付した 平成28 年度 58	単位 千円 かの主	業務軍な内訳	算定根 又得	拠 年度	予算	
i ii iii 事業のコスト 千円) 出金(千円)	め、必要な負担 指権 決算見込額 平成27年度決算	型金を確保し、市 票名称 額・受給者数 平成28年度決算	下村負担 平成26 年度 55 平成28年 金額(干	金を糸 平成27 年度 59 度決算	中 中 中 成28 年度 58 (事業費	単位 千円 かの主	業務軍な内訳	算定根 又得	拠 年度	予算	
i ii iii 事業のコスト 千円) 出金(千円) 出金(千円) その他(千円)	が、必要な負担 指 決算見込業 平成27年度決算 656,004	世金を確保し、市 票名称 額・受給者数 平成28年度決算 750,477	下村負担 平成26 年度 55 平成28年 金額(干	金を糸 平成27 年度 59 度決算	中 中 中 成28 年度 58 (事業費	単位 千円 かの主	業務軍な内訳	算定根 又得	<mark>拠</mark> 年度 778	予算 3,053	
i ii iii 事業のコスト 千円) 出金(千円) 出金(千円) その他(千円) 財源(千円)	め、必要な負担 指権 決算見込額 平成27年度決算	世金を確保し、市 票名称 額・受給者数 平成28年度決算 750,477	下村負担 平成26 年度 55 平成28年 金額(干	金を糸 平成27 年度 59 度決算	中 中 中 成28 年度 58 (事業費	単位 千円 かの主	業務軍な内訳	算定根 又得	<mark>拠</mark> 年度 778	予算	
i ii iii 事業のコスト 千円) 出金(千円) 出金(千円) その他(千円)	が、必要な負担 指 決算見込業 平成27年度決算 656,004	世金を確保し、市 票名称 額・受給者数 平成28年度決算 750,477	下村負担 平成26 年度 55 平成28年 金額(干	金を糸 平成27 年度 59 度決算	中 中 中 成28 年度 58 (事業費	単位 千円 かの主	業務軍な内訳	算定根 又得	<mark>拠</mark> 年度 778	予算 3,053	
i ii iii 事業のコスト 千円) 出金(千円) 出金(千円) その他(千円) 財源(千円)	が、必要な負担 指権 決算見込業 平成27年度決算 656,004	世金を確保し、市 票名称 額・受給者数 平成28年度決算 750,477	T町村負担 平成26 年度 55 平成28年 金額(刊	平成27 年度 59 度決算 -円) 50,477	中付した 平成28 年度 58 (事業費 療養新	単位 千円 かの主	業務軍な内訳	算定根 又得	<mark>拠</mark> 年度 778	予算 3,053	
i ii iii 事業のコスト 千円) 出金(千円) 出金(千円) その他(千円) 財源(千円)	が、必要な負担 指植 決算見込程 平成27年度決算 656,004 被保険者の増	型金を確保し、市 漂名称 額・受給者数 平成28年度決算 750,477 加により市負担	5町村負担 平成26 年度 55 平成28年 金額(刊 7	全を約 平成27 年度 59 度決算 (円) 50,477	中付した 平成28 年度 58 (事業費 療養新	単位 千円 かの主	紫務耶な内訳	算定根 又得 平成29	<mark>押</mark> 年度 778	予算 3,053 3,053	
i ii iii 事業のコスト 千円) 出金(千円) 出金(千円) その他(千円) 財源(千円)	が、必要な負担 指植 決算見込程 平成27年度決算 656,004 被保険者の増 i 市関与の妥当性	型金を確保し、市 <mark>漂名称</mark> 額÷受給者数 平成28年度決算 750,477 加により市負担 3高い	5町村負担 平成26 年度 55 平成28年 金額(千 7	型金を約 平成27 年度 59 度決算 	h付した 平成28 年度 58 (事業費 療養系	単位 千円 かの主	紫務耶な内訳	算定根 又得	<mark>押</mark> 年度 778	予算 3,053 3,053	
i ii iii 事業のコスト 千円) 出金(千円) 出金(千円) その他(千円) 財源(千円)	が、必要な負担 指 決算見込額 平成27年度決算 656,004 被保険者の増 i 市関与の妥当性 ii 有効性 高齢者の医療	型金を確保し、市 漂名称 額・受給者数 平成28年度決算 750,477 加により市負担	が増加 iii 公率性 iv 効率性 iii 公率性 iii 公本性 iii 以 iii 公本性 iii 公本性 iii 以 iii 公本性 iii 以 iii 公本性 iii 以 ii 以 iii 以	金を約平成27 年度59度決算一円)50,477していめられ	h付した 平成28 年度 58 (事業養 る。 3高い たた負	単位 千円 内容 合付費 担金で	業務耳な内訳 を内訳 単金 ・V総合	算定根 又得 平成29 評価 6 精 、医療	<mark>年度·</mark> 778	予算 3,053 3,053	
i	が、必要な負担 指 決算見込額 平成27年度決算 656,004 被保険者の増 i 市関与の妥当性 ii 有効性 高齢者の医療	型金を確保し、市 漂名称 額・受給者数 平成28年度決算 750,477 かにより市負担 3高い 3高い の確保に関する こめ、支出が増	可村負担 平成26 年度 - 55 平成28年 金額(〒 7 - 3 - 3 - 4 - 55 - 4 - 4 - 55 - 4 - 4 - 55 - 4 - 4 - 4 - 5 - 5 - 5 - 5 - 7 - 4 - 4 - 5 - 5 - 6 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7	金を約 平成27年度 59 度決算 50,477 していれる めらな こうな	h付した 平成28 年度 58 (事業養 る。 3高い たた負	単位 千円 内容 合付費 担金で	業務耳な内訳 を内訳 単金 ・V総合	算定根 又得 平成29 評価 6 精 、医療	<mark>年度·</mark> 778	予算 3,053 3,053	
i	が、必要な負担 指 決算見込額 平成27年度決算 656,004 被保険者の増 i 市関与の妥当性 ii 有効性 高齢者のであるが	型金を確保し、市 漂名称 額・受給者数 平成28年度決算 750,477 かにより市負担 3高い 3高い の確保に関する こめ、支出が増	が 単加 iii 公率性 iv 効率性 iv 効率性 ix 対 では ix が で	全 全 を が を が を を を を を を を を を を を を を	h付した 平成28 年度 58 (事素養 る。 高高市組 みにり 度事業	単位千円の主の内容は対象の対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	業務耳な内訳 は大力訳 は一く終わるかる。	算定根 又得 平成29 評価 6精 、医療	<mark>押</mark> 年度 778 778 查 ↑	予算 3,053 3,053	
i	が、必要な負担 指 決算見込額 平成27年度決算 656,004 被保険者の増 i 市関与の妥当性 ii 有効性 高齢者のであるが	型金を確保し、市 漂名称 額・受給者数 平成28年度決算 750,477 かにより市負担 3高い 3高い の確保に関する こめ、支出が増	が 単	金を 平成27 年度 59 度決 50,477 していれ取 成28年	付した 平成28 年度 58 (事 素養 る。 高高市組 事算初 H27→28編載	単位千円の主の内容は対象の対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	業務耳な内訳 を内訳 を対しる。 をがしる。 をがし。 をがしる。 をがし。 をがしる。 をがしる。 をがし。 をがしる。 をがし。 をがしる。 をがし。 をがしる。 をがしる。 をがしる。 をがしる。 をがしる。 をがしる。 をがしる。 をがしる。 をがし。 をがしる。 をがしる。 をがしる。 をがしる。 をがしる。 をがしる。 をがしる。 をがし。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をし。 をし。 をしる。 をしる。 をし。 をし。 をしる。 をし。 を	算定根 取得 平成29 評価 6 料 、 医療	集 778 778 778 778 778	予算 3,053 3,053	
i iii 事業のコスト 千円) 出金(千円) 出金(千円) おの他(千円) 財源(千円) 「・検討	が、必要な負担 指 決算見込額 平成27年度決算 656,004 被保険者の増 i 市関与の妥当性 ii 有効性 高齢者のであるが	型金を確保し、市 漂名称 額・受給者数 平成28年度決算 750,477 かにより市負担 3高い 3高い の確保に関する こめ、支出が増	が 単加 iii 公率性 iv 効率性 iv 効率性 ix 対 では ix が で	全 全 を が を が を を を を を を を を を を を を を	付した 平成28 年度 58 (事 素養 る。 高高市組 事算初 H27→28編載	単位千円の主の内容は対象の対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	業務耳な内訳 は大力訳 は一く終わるかる。	算定根 又得 平成29 評価 6精 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	加 年度 778 查 1	予算 3,053 3,053	
	施策 ・改善内容(= 高条 者のでき、高条に齢によるのは、高齢によるのは、高齢によるのは、高条のは、高条のは、高条のは、高条のは、高条のは、高条のは、高条のは、高条	施策 115 -・改善内容(=事務事業をよる) 高齢者の医療の確保に関する。 負担金を支出でき、負担金を支出でき、負担金を支出でき、負担金を支出できた。 負担金を支出できた。 して、	施策 115安心して暮らせ ・改善内容(=事務事業をより良く実施する) 高齢者の医療の確保に関する法律第98 条に基づき、負担金を支出する。 高齢者の医療の確保に関する法律第98 条により、市町村負担金を納付した。 事業の目的・概要 対象 後期高齢者医療保険被保険者 の1を負担する。 の1を負担する。 で成20年4月後期高齢者医療の定意向など) の1を負担額が増加している。 の1を負担額が増加している。 の1を見担額が増加している。 の1を見担額が増加している。	施策 115安心して暮らせる社会保 ・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方質 高齢者の医療の確保に関する法律第98 条に基づき、負担金を支出する。 3平成度に取 高齢者の医療の確保に関する法律第98 条により、市町村負担金を納付した。 内容 参事業の目的・概要 対象 後期高齢者医療保険被保険者 意図(対象 するのか) 後期高齢者医療の運営は広域連合が行 の1を負担する。 7析(事業開始 兄変化や今後の 気民意向など) 平成20年4月後期高齢者医療制度が 負担額が増加している。	施策 115安心して暮らせる社会保障の充 ・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策) 高齢者の医療の確保に関する法律第98 条に基づき、負担金を支出する。 3平成29年度に取組む 改革・改善 高齢者の医療の確保に関する法律第98 条により、市町村負担金を納付した。 内容 参事業の目的・概要 対象 後期高齢者医療保険被保険者 意図(対象をどうするのか) 多事業の概要 後期高齢者医療の運営は広域連合が行い、計の1を負担する。 1を負担する。 1を負担する。 1の1を負担する。 1の1を負担額が増加している。 1の1を負担額が増加している。 1の1を1の1を1の1を1の1を1の1を1の1を1の1を1の1を1の1を1の1	施策 115安心して暮らせる社会保障の充実 - 改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策) - 高齢者の医療の確保に関する法律第98 条に基づき、負担金を支出する。 - 高齢者の医療の確保に関する法律第98 条により、市町村負担金を納付した。 - 本子の目的・概要 - 対象 後期高齢者医療保険被保険者 意図(対象をどう するのか) - 本子の概要 - 後期高齢者医療の運営は広域連合が行い、市は医療の1を負担する。 - 本子の概要 - 本子の表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表	施策 115安心して暮らせる社会保障の充実 -・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策) 高齢者の医療の確保に関する法律第98 条に基づき、負担金を支出する。 高齢者の医療の確保に関する法律第98 条により、市町村負担金を納付した。 本事業の目的・概要 対象 後期高齢者医療保険被保険者 意図(対象をどうするのか) を関するが行い、市は医療費のがの1を負担する。 お析(事業開始 の1を負担する。) の1を負担する。 の1を負担する。 の1を負担する。 の1を負担する。 ・が析(事業開始 の1を負担する。) の1を負担する。 ・がが(事業開始 の1を負担する。) ・おが(事業開始 の1を負担する。)	政策 11誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくります 担当課金施策 115安心して暮らせる社会保障の充実 担当課金券 115安心して暮らせる社会保障の充実 担当課金券 115安心して暮らせる社会保障の充実 日当課金券 115安心して暮らせる社会保障の充実 日当課金券 115安心して暮らせる社会保障の充実 日当課金券 115安心して暮らせる社会保障の充実 115安心して暮らせる社会保障の充実 115安心して暮らせる社会保障の充実 115安心して暮らせる大めの方策 115安心して暮らせる社会保障の充実 115安心して暮らせる社会保障の充実 115安心して暮らせる社会保障の充実 115安心して暮らせる社会保障の方実施してと療給付費の増加に実施して医療給付費の増加に実施して医療給付容 115安心した。 115安心して暮らせる社会保障の充実 115安心して書いる。 115安心して暮らせる社会保障の充実 115安心の方式を集まっための方式を表示してと事業の概要 113を対した。 115安心と表示を表示している。 115安心と表示を表示を表示している。 115安心と表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表	政策 11誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくります 担当課業 保険年施策 115安心して暮らせる社会保障の充実 井上 党・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策) 高齢者の医療の確保に関する法律第98条に基づき、負担金を支出する。 ③平成29年度に取組む改革・改善内容 医療給付費の増加を抑える人間ドック費用助成事業なに実施して医療給付費の適図る。 第事業の目的・概要	政策 11誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくります 担当課金 保険年金課施策 115安心して暮らせる社会保障の充実 担当課金 井上 知子 で改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策) 高齢者の医療の確保に関する法律第98 条に基づき、負担金を支出する。 3 平成29年度に取組む改革・改善・改善・改善・改善・改善・改善・改善・改善・改善・改善・改善・改善・改善・	

	2	平成29年度 銵	ケ谷市事務事	業	评価表	(事後)	(標準	評価表	()				
事務	 等 業名	後期高	齢者医療事務	貴負	担金に	要する	る経費		会計		項	目	多額経費
	 政策	11章件 4. から係	建康に暮らせる	生 涯	また シェン・ストン	+ <u></u>	つくりま	 ਰ	一般担当課室	3 保険	1	6 全理	
								9					`
	施策	=事務事業をよ	安心して暮らせ				天		担当課室長	井上	- 지	子	
1前回	- 以普內各(-	一事物事未での	グ及へ天心りる	/_ \C)	R)	I						
の評価で掲げた内容		的に基づき、負持の人口割・市の		③平成29年 度に取組む 改革・改善			額の増加に対応			加にともなう市負担 応できるよう、資格・ 給付費の抑制を図			
基づく取組み結果	金を納付した	•	市町村負担		内容	—	る。	J (<u>E.</u>)	医療稲付賀の抑制を 図				<u></u>
Ⅱ事務	事業の目的・	<u>概要</u>					ı						
①目的	対象	後期高齢者医療	後期高齢者医療保険被保険者 するのか) 後期高齢者 事務費を納付								者に	必	要な
②事務事	事業の概要	後期高齢者医 る。	療制度を運営す	る	広域連	合の選	営費と	して市	i町村負	負担金	金を	納付	す
からの状況	分析(事業開始 記変化や今後の 「民意向など)	平成20年4月 負担額が増加	後期高齢者医療 している。	奈朱	度が倉	削設され	いたが、	年々初	皮保険	者数	が増	加し	√市
Ⅲ 事務	事業の成果や	やコストの状況											
①平成2 業の成界	8年度の事 見		広域連合規約第 市町村負担金を				かられて	こいるの	りで、決	そめら	nt	と事	務を
②成果		指标	票名称		平成26 年度	平成27 年度	平成28 年度	単位			₹根	処	
を表す 指標	;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;	決算見込物	預÷受給者数		2,460	2,646	2463	円	業務耳	仅得_			
②声 想		亚芹07左座边签	亚芹00左座边签	Π.	亡の左	在油質	/ 击 光 串	一	<i>+</i> >d==0	ᇴᆑ	:00 <i>E</i>	一曲	マケ
事業費(=		平成27年度決算 29,463	平成28年度沃昇 31,852		0.28年) 金額(千		十十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	内容	4円訳	干办	,Z9±		<u>ア昇</u> 6,004
	<u>[日]</u> 出金(千円)	29,403	31,032				広域連		1負担金			30	7,004
	出金(千円)					01,002							
	その他(千円)												
一般則	才源(千円)	29,463	31,852									36	3,004
IV 評価	i•検討												
①課題		負担金の額は 市負担額も増加	広域連合規約第 10する。	第1	8条に。	より定と	かられて	におり被	は保険す	者の対	増加	ادا	とり
2評価		i 市関与の妥当性 ii 有効性	3高い 3高い		公平性 効率性		3高い 3高い		v 総合	評価	6精	查•	検証
③上記評	平価の理由		0月10 18条に基づき 1					額につ	いては	大精 了	査•梢	証	を要
V 多額	の経費を要す	る事業等の「実	『施計画』におい	ける									
①平成2	8年度の計画			計画	平) 事業費	或28年	度事業 予算額		犬況(革		千円 算額		
②計画に対	対する事業実績					,	当初 H27⇒28繰越		,	H27:	から		
③達成物	犬況					0	補正		0	現年	F厶		
④ 未完了·	・非着手の理由			平成	29年度への)繰越額(単	流用·充当			が上	⊢ JĪ		

	7	<u> </u>	ケ谷市事務事	業計	平価表	(事後)	(標準	評価表	<u> </u>			
事系		後	期高齢者保健될	事業	に要す	る経費	ŧ		会計一般	款 項	1 目	多額経費
	 政策	11誰もが優		 牛涯	福祉さ	+ ナ会を1	つくりま	 ਰ	担当課室	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<u> </u>	
	<u></u> 施策		安心して暮らせ						担当課室長		知子	
		=事務事業をよ							LIMEX	71 -	ΛH]	
1前回		もづき健康診査		/_ \d	007715	R)						
の評価で掲げた内容	行い、また平 を実施する。	成28年度から 保健予防事業と して実施する。	歯科口腔健診	度に取組む「			口腔倾	の基準に基づく健康診査や 腔健診を実施し、併せて平り				
②①に 基づく 取組み 結果	康診査を実施	こ対して説明会を実施し、健 正した。また広域連合と連携を 業も実施した。						(人間ドック費用助成				
Ⅱ 事務	緊事業の目的・	概要										
①目的	対象	後期高齢者医療	送期高齢者医療保険被保険者 意図(対象をどう するのか) 生活習慣病の 化を防ぎ健康									
②事務事	事業の概要	実施主体である	る広域連合との	委記	£契約	によりī	もが健 。	康診査	等を実	施する	0	
からの状況	う析(事業開始 兄変化や今後の 「民意向など)	<mark>>今後の</mark> 見により重症化を防ぎ、増大する医療費の抑制を目的とした保健予防事業の取										
Ⅲ 事務	事業の成果や	ウコストの状況										
①平成2 業の成身	8年度の事 果	千葉県後期高 予防事業を実施	齢者医療広域 施した。	重合	と連携	し、被	保険者	の健康	を増進に	こつなか	る仏	呆健
②成果		指标	票名称			平成27 年度	平成28 年度	算定根拠				
を表す	i	受	诊者数		3,853	4,124	4,259	人	業務取得			
指標	iii			_								
③事務事		平成27年度決算	平成28年度決算	平月	成28年月	度決算	(事業費	()の主	な内訳	平成29	年度	予算
事業費(38,142	40,473		強額(千			内容				0,901
	出金(千円)					40,473	健康診	塗	£			
	出金(千円)	00.140	40.470									0.001
	その他(千円)	38,142	40,473								/	0,901
	M <i>源(〒□/</i> i•検討											
1課題	. 12763	健康診査等の	受診率を上げる	5=8	が課題	頃である	3 。					
②評価		i市関与の妥当性			公平性		3高い		v 総合	評価	7拡	夰
			<u>2普通</u> ら実施する人間		効率性 ッグ費		2普通 事業も	 併せ.				
<u> </u>	平価の理由	上のために事業	業を拡大する必	要点	がある。)		- \				
V 多額	の経費を要す	る事業等の「実	『施計画』におけ	<u> </u>			古 書 2	- 走 へ !	L 10 / 22	()± +	П	
①平成2	8年度の計画			計画	半 事業費	火28年	皮爭業 予算額		大况(隼	位;千 決算		
②計画に	対する事業実績						当初 H27⇒28繰越			H27から の繰越	,	
③達成物	犬況					0	補正		0	現年分		
④未完了	・非着手の理由			平成2	29年度への	繰越額(単	流用•充当					

	3	⁷ 成29年度	ケ谷市事務事	業評価表	(事後)	(標準	評価表	₹)								
事系	务事業名		国民年金事務	に要する	経費			会計 一般	款 項	17	多額経費					
	政策	11誰もが優	建康に暮らせる	主涯福祉	社会を	つくりま	す	担当課室	保険年	F 金 誤	#					
	施策	115	安心して暮らせ	る社会保	障の充	実		担当課室長	井上	知子						
I 改革	・改善内容(=	=事務事業をよ	り良く実施する	ため <u>の方</u> :	策)											
①のでた ②基取結回価げ容にくみ	減するため、 る。窓口にお 相談・手続き し、窓口対応	対する住民の不満や不安を軽 迅速かつ正確な対応に努め ける年金相談の充実を図る。 の際にリーフレット等を配付 の充実を図った。 は、3平成29年 度に取組む 改革・改善 大で、改善 行したことに た業務遂行					フェース 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大							、国民学 経減す 勤職員 を軟かご	年金に る。 任用	に対に移
Ⅱ 事務	§事業の目的・	11-21														
①目的	対象	市内に住所のある 未満の被用者年金 いない者。基礎年	を制度に加入して	意図(対象 するのか)		被保険: とにより 納者及る	、情報の	り提供、	周知がす	可能とな	なり滞					
②事務署	事業の概要		険者の資格異重 _{食料免除申請事}							-						
からの状況	③環境分析(事業開始 からの状況変化や今後の 見込み・市民意向など) 今年度は老齢年金の受給資格期間が短縮されることにより、新たに受給資格が多生する者からの相談が増加する予想である。							が発								
Ⅲ 事務	§事業の成果や	ウコストの状況														
①平成2 業の成身	28年度の事 果		納者の増加防」 0件を上回る申				対象に	こ勧めっ	ているに	申請兌	色除					
②成果		指标	票名称	平成26 年度	平成27 年度	平成28 年度	単位		算定	艮拠						
を表す	i		:被保険者数	23,989	23,269				丰金事							
指標	ii		<u> 保険料納付率</u>	60.9					<u> 王金事</u>	業統語	計表					
○ 	iii		免除進達件数		5,204			業務国			kk					
	事業のコスト		平成28年度決算			事業費		な内訳	半成2							
事業費(-		8,112	8,189	金額(-		国民在	内容	ま ます			7,566					
	出金(千円)	8,112	8,189			国民年					7,566					
	出金(千円) その他(千円)				2,363	国民中	並オン	717								
	け源(千円)															
	6. 検討															
①課題	1 1/41	多くの加入届や	ら免除申請等の に課題である。	提出があ	るが、い	いかに	効率的	かつ個	ミコスト	で処理	埋で					
②評価		i 市関与の妥当性 ii 有効性	2普通 2普通	iii 公平性 iv 効率性		2普通 2普通		v 総合	評価 6	精査・	検証					
③上記記	評価の理由	法定受託事務	のため、業務手	法等につ	いて精	査∙検討	正の上	、事業	を継続	する。)					
V 多額	質の経費を要す	る事業等の「実	『施計画」におけ	ける達成も	け況											
	8年度の計画			平	成28年			犬況(茸								
				計画事業費		予算額 当初			決算 H27か							
⊘計画に	対する事業実績				_	H27⇒28繰越		1 ,	の繰起							
②洋牛	4:口				0	抽工		0								
③達成物 ④未完了	犬況 ・非着手の理由				0	補正 _{流用·充当}			現年名	分						

	<u> </u>	<u> F成29年度 </u>	ケ谷市事務事	業評価	<u> </u>	(事後)	(標準	評価表	<u> </u>				
事務	務事業名		特定健康診査	に要す	する絹	経費			会計国保	款 8	項 1	目 1	多額経費
	 政策	11誰もが優	康に暮らせる	生涯福	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	土会を	つくりま	す	担当課室	保険		金課	ļ.
	————— 施策	115	 安心して暮らせ	る社会	会保	障の充	実		担当課室長	井上	: 知	1子	
1 改革	- 改善内容(=	=事務事業をよ	り良く実施する	t-xha	方行	套)							
①前回 の評価 で掲げ た内容 ②①に 基づく	健診受診率「 受診者全数」 未受診理由し う。 未受診者全勢	りたり、9月 に受診勧奨はが こついて、アンケ とでアンケート記 を把握し、次年月	時点での未 きを送付し、 ケート調査を行 開査を実施し、	③平成29年 度に取組む 改革・改善施し、事後 内容			血清ク 変)を受 事後指 て、被	を診査について腎機能健認 清クレアチニン、eGFR、血 を受診者全数に追加して 後指導を行う。未受診者対 、被保険者の状況に応じた そハガキを送付する。					
取組み 結果	の見直しを行	うた。					文形性	が残れる	リーでは	ל ניו ב	<i>a</i>	0	
	事業の目的・	押		-									
□ 事務	尹未の日的!	似女											
①目的	対象	国民健康保険	被保険者	意図(するの		をどう	生活習	間では	女善し犯	実病を	予	坊す	⁻ る。
②事務事	事業の概要	年1回特定健康 保健指導と受記						-	クが高	い人	~ σ.	特	定
からの状況見込み・市	分析(事業開始 記変化や今後の 民意向など)	平成27年度法定 ず特に40代男性 予防と重症化予	性で低い。また、	生活習	引慣症								
Ⅲ 事務	事業の成果や	やコストの状況											
①平成2 業の成果	8年度の事 ^長	受診勧奨と共同 22%、職場・人 請から結果提供	間ドック受診が	6%で	ある	ことを	把握。他	也の健					
②成果			票名称	平		年度	平成28 年度	単江		算定	- 1- 101		
を表す	i		診査受診率		32	33.8			業務取				
指標	ii		指導実施率		25.1				業務取		レスエコ	4/30	0)
	iii		の保険給付費		254	266		千円	業務取				
		平成27年度決算					(事業費		な内訳	平成	29年		
事業費(=		80,901	77,724		額(千			内容					1,537
	金(千円)	15,363	16,033				健康記						5,766
	出金(千円)	15,363	16,033				臨時・]頁金			15	5,766
	一の他(千円)						通信運						
	<u>材源(千円)</u>	50,175	45,658			1,402	需用費	E				63	3,005
IV 評価	• 検討												
①課題		上及び健診項目	険給付費は増加 の充実が必要で	あり、	また	受診者	の事後					受診	率向
②評価		i 市関与の妥当性 ii 有効性	3高い 3高い	iii 公 iv 効			3高い 3高い		v 総合	評価	7	'拡き	充
	平価の理由	法律で定められ					とめ事	業の拡	充を図	る必	要が	あ	5 。
Ⅴ 多額	の経費を要す	「る事業等の「実	『施計画」におい	ける達									
①平成2	8年度の計画			計画事		成28年	度事業 予算額		犬況(単 ┃		千円 算額		
②計画に対	対する事業実績						当初 H27⇒28繰越			H27だ の繰	から		
③達成物						0	補正		0	現年			
④未完了:	・非着手の理由			平成29年	F度への)繰越額(単	流用·充当 位;千円)						

特定健康診査等に要する経費

健康増進課 8款1項1目

[事業の概要]

国民健康保険被保険者40~74歳を対象に、生活習慣を改善し、疾病を予防するため、年1回特定健康診査を実施する。結果により、生活習慣病のリスクが高い人への特定保健指導と受診勧奨値を呈した人への受診勧奨を行う。

[事業の成果]

特定健康診査

1. 受診対象者22,791人2. 受診者7,820人3. 受診率34.3%

特定保健指導

1. 対象者980人2. 実施者279人3. 実施率28.5%

〔決 算 額〕

総事業費 77,724千円

	金	額	内	容	
主な内訳	11,	308千円	臨時職員賃金・非常勤職員賃金		
	59,	360千円	特定健康診査業務委託等		

		777	ケ谷市事務事	未計価衣	(争俊)	(標準	評価表	:)						
事務	务事業名		臨時福祉給付金	金に要する	経費			会計		項	目	多額経費		
								一般	3	1	1			
	政策	11誰もが優	建康に暮らせる:	生涯福祉	社会を7	つくりま	す	担当課室	社会	福	扯課	Ř		
	施策	115	安心して暮らせ	る社会保	障の充	実		担当課室長	髙橋	看	妆			
	・改善内容(=	=事務事業をよ	り良く実施する	ための方気	策)									
①のでた ② 基取結 回価げ容 にくみ	年金受給者「月に③経済対 ①高齢者向「向け及び簡素の一部の支援	者向け、8月にの 向け及び簡素な 対策分の一部の ナ、②障害・遺族 たな給付措置、の 合を予定通り行	給付措置、2 ウ支給を行う。 集年金受給者 ③経済対策分	度に取	改革・改善 いての支給					合付金(経済対策分)につ 含を行う。				
Ⅱ事務	事業の目的・													
①目的	対象	平成28年1月1日基の住民基本台帳に 市民税の均等割が	こ記録されており、 が非課税の方	意図(対象するのか)			こ、消費	費の下	支える	を図	る。			
②事務事	事業の概要)消費税率の引 対応を行うまでの											
からの状況見込み・市	③環境分析(事業開始 からの状況変化や今後の 見込み・市民意向など) 申請や給付時期は、各自治体で決めることになるので、自治体間で時期が異なる							ぶる 。						
Ⅲ事務	事業の成果や	やコストの状況												
①平成2 業の成男	8年度の事 関	①由注書祭光上粉の3+ 0250(の由注字の古絵及び天古絵の油												
		③甲詴香発达人	、数のうち、12.9%	の申請者	の支給	及び不え								
②成果			、数のうち、12.9% 票名称	6の申請者 平成26	の支給					とが	でき			
②成果を表す	i	指標申請書発送人	票名称	の申請者 平成26 年度 19,152	の支給 平成27 年度 17,413	及び不3 平成28 年度 45,602	を給の浴 単位 人	央定をす 業務取得	トるこ。 算定 导(H28	とが 【根 は①	でき <mark>処</mark> ②③	た。 合計)		
②成果	i	申請書発送人申請者数	票名称	の申請者 平成26 年度 19,152 14,523	の支給 平成27 年度 17,413 13,518	及び不3 平成28 年度 45,602 23,633	を給の浴 単位 人 人	失定をす 業務取得 業務取得	学 算 等(H28 等(H28	とが 根 は① は①	でき <mark>拠</mark> ②③ ②③	た。 合計) 合計)		
②成果 を表す 指標	i ii iii	指标 申請書発送人 申請者数 支給者数	票名称 数	がいます。 ・ で成26 年度 ・ 19,152 ・ 14,523 ・ 13,446	の支給 平成27 年度 17,413 13,518 12,917	平成28 年度 45,602 23,633 22,328	を給の浴 単位 人人人	央定をす 業務取4 業務取4 業務取4	学 算定 等(H28 等(H28	とが 根 は① は① は①	でき <mark>処</mark> 23 ⁻ 23 ⁻	た。 合計) 合計)		
②成果 を表す 指標 ③事務事	i ii iii iii 事業のコスト	指标申請書発送人申請者数 支給者数 平成27年度決算	票名称数	がいます。 ・ では、 ・ では、	の支給 平成27 年度 17,413 13,518 12,917 度決算	平成28 年度 45,602 23,633 22,328	単位 人 人 人 人 人	央定をす 業務取4 業務取4 業務取4	学 算定 等(H28 等(H28	とが 根 は① は① は①	でき 処 ②③・ ②③・ 王度	た。 合計) 合計) 合計) 予算		
②成果 を表す 指標 ③事務 事業費(-	i ii iii iii 事業のコスト 千円)	申請書発送人 申請者数 支給者数 平成27年度決算 97,655	票名称 数 平成28年度決算 341,001	がいます。 ・ で成26 年度 ・ 19,152 ・ 14,523 ・ 13,446	の支給 平成27 年度 17,413 13,518 12,917 度決算 -円)	及び不3 平成28 年度 45,602 23,633 22,328 (事業費	総 単位 人人人 人人 人の主 内容	来定をす 業務取組 業務取組 業務取組 な内訳	学 算定 等(H28 等(H28	とが 根 は① は① は①	でき 処 ②③・ ②③・ 下度 243	た。 合計) 合計) 合計) 予算 3,003		
②成果 を表す 指標 ③事務 事業費(- 国支出	i ii iii iii 事業のコスト	指标申請書発送人申請者数 支給者数 平成27年度決算	票名称 数 平成28年度決算 341,001	がいます。 ・ では、 ・ では、	の支給。 平成27 年度 17,413 13,518 12,917 度決算 一円) 5,478	平成28 年度 45,602 23,633 22,328	単位 人人人 人人 内容 当、質	央定をす 業務取得 業務取得 業務取得 な内訳 金等	学 算定 等(H28 等(H28	とが 根 は① は① は①	でき 処 ②③・ ②③・ <u>下度</u> 243 243	た。 合計) 合計) 合計) 予算		
②成果 を表標 事業費(- 事業費(- 県支出	i ii iii 事業のコスト 千円) 出金(千円)	申請書発送人 申請者数 支給者数 平成27年度決算 97,655	票名称 数 平成28年度決算 341,001	が ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	の支給 平成27 年度 17,413 13,518 12,917 度決算 -円) 5,478 9,601	及び不3 平成28 年度 45,602 23,633 22,328 (事業費 職員手	を給の浴 単位 人人人の主 内容 のま、 大人人の主 のま、 大人人の主 の名 で の名 に の の の の の の の の の の の の の の の の の	央定をす 業務取利 業務取利 業務取利 な内訳 金等 専用料等	学 算定 等(H28 等(H28	とが 根 は① は① は①	でき 処 ②③・ ②③・ <u>下度</u> 243 243	た。 合計) 合計) 合計) 予算 3,003 3,003		
②成果 を表標 事務等 事業費(5 事実) 事情	i ii iii 事業のコスト 千円) 出金(千円)	申請書発送人 申請者数 支給者数 平成27年度決算 97,655	票名称 数 平成28年度決算 341,001	が ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	の支給 平成27 年度 17,413 13,518 12,917 度決算 -円) 5,478 9,601	及び不多 平成28 年度 45,602 23,633 22,328 (事業費 職員手	を 単位 人人人 内当、 に を に は に に に に に に に に に に に に に	東定をする 業務取利 業務取利 な内訳 を用料等 す金	学 算定 等(H28 等(H28	とが 根 は① は① は①	でき 処 ②③・ ②③・ <u>下度</u> 243 243	た。 合計) 合計) 合計) 予算 3,003 3,003		
②成果 を表標 事務等 事業費(5 事実) 事情	i ii iii 事業のコスト 千円) 出金(千円) 出金(千円) その他(千円) 対源(千円)	申請書発送人 申請者数 支給者数 平成27年度決算 97,655	票名称 数 平成28年度決算 341,001	が ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	の支給 平成27 年度 17,413 13,518 12,917 度決算 -円) 5,478 9,601	平成28 年度 45,602 23,633 22,328 事業費 職員手 郵送料、 臨時福	を 単位 人人人主 の の の の の の の の の の の の の	東定をする 業務取利 業務取利 な内訳 を用料等 す金	学 算定 等(H28 等(H28	とが 根 は① は① は①	でき 処 ②③・ ②③・ <u>下度</u> 243 243	た。 合計) 合計) 合計) 予算 3,003 3,003		
②成果 で表標 ③事業費(- 事業しました。 ・一般則 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	i ii iii iii 事業のコスト 千円) 出金(千円) 出金(千円) その他(千円) 対源(千円) i・検討 目的に対す	申請書発送人 申請者数 支給者数 平成27年度決算 97,655 97,655	票名称 数 平成28年度決算 341,001 341,001	がの申請者。 平成26 年度 19,152 14,523 13,446 平成28年 金額(日	の支給 平成27 年度 17,413 13,518 12,917 度決算 円) 5,478 9,601 19,671	及び不多 平成28 年度 45,602 23,633 22,328 (事業費 職員手 郵送料、 (①=繰越)	を 単位 人人人の主 芸託料、信 を記せ、記料、信 を記せ、記書、記述による。 は、記述にまる。 は、記述にまる。	央定をする 業務取利 業務取利 業務取利 また内訳 金等 東田料等 すの合計)	算定 等(H28 等(H28 平成	とが は① は① は① は② 294	でき 型 23 23 1 1 1 1 1 1 1 1	た。 合計) 合計) 合計) 予算 3,003 3,003 果越)		
②成果す 成果す 事費支 県市会 の で は で は で は で り で り で り で り に り に り に り に り に り に り	i ii iii iii 事業のコスト 千円) 出金(千円) 出金(千円) その他(千円) 対源(千円) i・検討 目的に対す	指標 申請書発送人 申請者数 支給者数 平成27年度決算 97,655 97,655	票名称 数 平成28年度決算 341,001 341,001 いら申請開始となる必要がある。 3高い	が の申請者 平成26 年度 19,152 14,523 13,446 平成28年 金額(コー 3	の支給、 平成27 年度 17,413 13,518 12,917 度決算 一円) 5,478 9,601 19,671	及び不多 平成28 年度 45,602 23,633 22,328 (事業費 職員手 郵送料、 (①=繰越 である6 3高い	を 単位 人人人の主 芸託料、信 を記せ、記料、信 を記せ、記書、記述による。 は、記述にまる。 は、記述にまる。	央定をする 業務取利 業務取利 業務取利 また内訳 金等 東田料等 すの合計)	「 算定 等(H28 等(H28 等(H28 平成	とが は① は① は① は② な② な② な る る る る る る る る る る る る る る る	でき 型 ②③・ ②③・ 下度 243 (終	a (た。) 合計) 合計) 合計) 予算 3,003 3,003 果越)		
②成果 で表標 ③事業国県市 一評題状 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	i ii iii iii 事業のコスト 千円) 出金(千円) 出金(千円) その他(千円) 対源(千円) i・検討 目的に対す	指標 申請書発送人 申請者数 支給者数 平成27年度決算 97,655 97,655	票名称 数 平成28年度決算 341,001 341,001 いら申請開始となる必要がある。 3高い 3高い	がの申請者 平成26 年度 19,152 14,523 13,446 平成28年 金額(円 3 3 はつており iii 公平性 iv 効率性 分かりやす	の支給 平成27 年度 17,413 13,518 12,917 度決算 (円) 5,478 9,601 19,671	及び不多 平成28 年度 45,602 23,633 22,328 (事業費 郵送料、 である6 3高い 3高い	を 単 人人人主要証金の ままで は 人人人主要証金の ままれる は ままれる ままま ままま ままま ままま ままま ままま まままま ま	東定をする 業務取得 業務取得 まで まで まで まで まで まで まで まで まで まで まで まで まで	学 第(H28 景(H28 景(H28 景(H28 平成 評価	とが には は は は は は は は は は は は は は	でき 型 23 23 23 24 24 24 24 3 4 4	た。 合計) 合計) 予算 3,003 3,003 繰越)		
②成果 で表標 ③事業国 県市 一評題状 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	i ii iii iii iii iii iii iii iii iii i	申請書発送人 申請者数 支給者数 平成27年度決算 97,655 97,655 97,655 平成29年2月か 高知徹底を図 i 市関与の妥当性 ii 有効性 市が実施主体と	<mark>栗名称</mark> 数 平成28年度決算 341,001 341,001 361,001 361,001 361,001 361,001 361,001	が の申請者 平成26 年度 19,152 14,523 13,446 平成28年 金額(コー でおり iii 公平性 iv 効率性 かりやすり。	の支給。 平成27 年度 17,413 13,518 12,917 度決算 一円) 5,478 9,601 19,671 、締切・	及び不多 平成28 年度 45,602 23,633 22,328 (事業費 郵送料、 である6 3高い 3高い	を 単 人人人主要証金の ままで は 人人人主要証金の ままれる は ままれる ままま ままま ままま ままま ままま ままま まままま ま	東定をする 業務取得 業務取得 まで まで まで まで まで まで まで まで まで まで まで まで まで	学 第(H28 景(H28 景(H28 景(H28 平成 評価	とが には は は は は は は は は は は は は は	でき 型 23 23 23 24 24 24 24 3 4 4	た。 合計) 合計) 予算 3,003 3,003 繰越)		
②成果 ②成表標 事費 事業 国県市一評題状 一評題状 一部記 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	i ii iii iii iii iii iii iii iii iii i	申請書発送人 申請者数 支給者数 平成27年度決算 97,655 97,655 97,655 ・ 1 市関与の妥当性 ii 有効性 市が実施主体と 速な給付が求め	<mark>栗名称</mark> 数 平成28年度決算 341,001 341,001 361,001 361,001 361,001 361,001 361,001	がいける では の申請者 ・	の支給 平成27 年度 17,413 13,518 12,917 度決 円) 5,478 9,601 19,671 、締切・	及び不 平成28 年度 45,602 23,633 22,328 事 郵	を 単 人人人主委託 は 見 ま で 要 で の と 要 で の と 要 で の と 要 で の と 要 で の と 要 で の と の と で の と の と で の と の と で の と の と	東 業務 素務 素務 素務 素務 素務 素務 素の 素の 素の 素の 素の 素の 素の まの の の の の の の の の の の の の の	第 (H28 景 (H28 景 (H28 景 (H28 事 (H28) (H	とが で根は はは はは はは はは で また の の の に の の の に の の に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に に に に に に に に に 。 に に に に に 。	で 処 23 23 1 23 23 24 24 24 3 4 4 4 5 6 7 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	た。 合計) 合計) 予算 3,003 3,003 繰越)		
②成表標 事業国県市 一評題状 価 ③ま 取 課題状 価 ② 取 記 ② 取 の ② 取 の ② 取 の ②	i ii iii iii iii iii iii iii iii iii i	申請書発送人 申請者数 支給者数 平成27年度決算 97,655 97,655 97,655 ・ 1 市関与の妥当性 ii 有効性 市が実施主体と 速な給付が求め	<mark>栗名称</mark> 数 平成28年度決算 341,001 341,001 361,001 361,001 361,001 361,001 361,001	がの申請者 平成26 年度 19,152 14,523 13,446 平成28年 金額(コー でないでは、対している。 はい対している。 はい対している。 はい対している。 はい対している。 はい対している。 はい対している。 はい対している。 はいがしいる。 はいがしいる。 はいがしいる。 はいがしいる。 はいがしいる。 はいがしいる。 はいがしい。 はいがしい。 はいがしい。 はいがしいる。 はいがしいる。 はいがしいる。 はいがしいる。 はいがしいる。 はいがしいる。 はいがしい。 はいがしい。 はいがしいる。 はいがしいる。 はいがしいる。 はいがしいる。 はいがしい。 はいがしい。 はいがしい。 はいがしい。 はいがしいがしい。 はいがしいがしい。 はいがしいがしい。 はいがしいがしい。 はいがしいがしいがしい。 はいがしいがしいがしい。 はいがしいがしい。 はいがしいがしいがしいがしいがしいがしいがしいがしいがしいがしいがしいがしいがしい	の支給 平成27 年度 17,413 13,518 12,917 度決円 5,478 9,601 19,671 ・	及び不多 平成28 年度 45,602 23,633 22,328 事 郵送時報 である6 3高い 3高い 3高い	を 単 人人人主委託 は 見 ま で 要 で の と 要 で の と 要 で の と 要 で の と 要 で の と 要 で の と の と で の と の と で の と の と で の と の と	央 業業 な 金料 な 金料 な 金料 な 金料 な 金別 を おいる を として な と な と な と な と な と な と な と な と	第 (H28	とが に ははは ははは に ははは に で に に に に に に に に に に に に に	で 処 23 23 1 23 23 24 24 24 3 4 4 4 5 6 7 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	た。 合計) 合計) 予算 3,003 3,003 繰越)		
②成表標 事業国県市 一評題状 価 ③ま 取 課題状 価 ② 取 記 ② 取 の ② 取 の ② 取 の ②	i ii iii iii iii iii iiii iiii iiiiiiii	申請書発送人 申請者数 支給者数 平成27年度決算 97,655 97,655 97,655 ・ 1 市関与の妥当性 ii 有効性 市が実施主体と 速な給付が求め	<mark>栗名称</mark> 数 平成28年度決算 341,001 341,001 361,001 361,001 361,001 361,001 361,001	がいける では の申請者 ・	の支給 平成27 年度 17,413 13,518 12,917 度決 円) 5,478 9,601 19,671 、締切・	V 不成28 年度45,602 23,633 22,328東 郵 	を 単 人人人主委託 は 見 ま で 要 で の と 要 で の と 要 で の と 要 で の と 要 で の と 要 で の と の と で の と の と で の と の と で の と の と	東 業務 素務 素務 素務 素務 素務 素務 素の 素の 素の 素の 素の 素の 素の まの の の の の の の の の の の の の の	第 (H28	とが で 根ははは で ははは で で の に る に の に の に る に 。 に る に 。 に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に に に に に る に る に る に る に る に 。	で 処 23 23 1 23 23 24 24 24 3 4 4 4 5 6 7 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	た。 合計) 合計) 予算 3,003 3,003 繰越)		

		<u> </u>	アイト	<u>未</u>	<u>評価衣</u>	(尹)及/	(標準	计侧衣	ξ <i>)</i>				
事系	务事業名		生活保護に	要	する経済	費			会計一般	<u>款</u>	項 3	目 2	多額経費
	 政策	 11誰もが優	建康に暮らせる	生涯	 重福祉剂	±会を1	つくりま	 す		社会			<u> </u>
	 施策	115	 安心して暮らせ	·るネ	社会保障	 障の充	 実		担当課室長	髙橋	喬 循		
1 改革	- 改善内窓(=	 =事務事業をよ	り良く宝施する	t-x	カの方領	告)							
① 前回 の 掲げ た 内 ② ① に 基 づ く	平成27年4月 度が施行され 果的な運用を 生活困窮者	より生活困窮者 1、生活保護制	音自立支援制 度と併せた効)利用者が自	度に取組む 窮者自立支			立支持 、引き	4月より施行された生活困 支援制度と生活保護制度 き続き効果的な運用を 。				制度	
取組み結果	護制度の利用	用により最低限 立支援をするこ	度の生活を維					• ••					
	事業の目的・												
①目的	対象	生活保護受給	世帯		図(対象 るのか)	をどう	自立支	援					
②事務事	事業の概要	生活に困窮する	る被保護者に対 なを支援する。	tL⁻	て最低	限度の	生活を	保障し	つつ、	被保	:護者	ずの i	経済
からの状況	③環境分析(事業開始 からの状況変化や今後の 見込み・市民意向など) 場気の回復により、就労による生活保護から自立するケースは増加しているが、その状況変化や今後の 少しない傾向にある。												
Ⅲ 事務	寄業の成果や	やコストの状況											
①平成2 業の成界	8年度の事 果	平成29年3月3 参考資料のと	1日時点で131世 おり)。	世帯	が生活	保護な	いらの自	自立を見	果たした	さ(詳	細は	ま別	添
②成果			票名称		平成26 年度	平成27 年度	平成28 年度	単位	77.7-17.11			処	
を表す	i	生活保護受給	世帯		951	983		世帯					
指標	ii	年間訪問件数	- L II 6 = L III // I	sle I			4,025	回	業務耳				
② 击 羽 5	iii		あたりの訪問件 またのななお答		4.16	4.04		□	業務耳				マケ
事業費(=		平成27年度決算 2,244,850	干风28平及沃昇		出って	# : 1 ' ' ' '		シタナ	# > PT = U	<u> </u>	tona		
		2.244.000	2 200 500	_			(事業質		な内訳	平成			
	#(金(千円)			VIT	金額(千	円)		内容	な内訳	平成	2	,355	5,630
	出金(千円) 出金(千円)	1,874,694	1,761,199	VIT	金額(千	円)	扶助費	内容	な内訳	平成	2	,355 ,776	
県支出				VIT	金額(千	円)		内容	な内訳	平成	2	,355 ,776	5,630 6,110
県支b 市債で 一般則	出金(千円) その他(千円) 対源(千円)	1,874,694	1,761,199	VITI	金額(千	円)		内容	な内訳	平成	2	,355 ,776 44	5,630 6,110
県支出 市債ぞ	出金(千円) その他(千円) 対源(千円)	1,874,694 44,772 325,384	1,761,199 48,394 498,996	V	金額(千	·円) 08,589	扶助費	内容			1	,355 ,776 44 534	5,630 5,110 1,772 1,748
県支出市債利 市債利 一般則 IV 評価	出金(千円) その他(千円) 対源(千円) i・検討 目的に対す	1,874,694 44,772 325,384 保護世帯の増減に傾向にある。またされ、扶助費削減	1,761,199 48,394 498,996 ま景気に左右される年金受給権取得にのため年金受給に	るが、要す	金額(千 2,30 、近年は ける資格 いての積	円) 08,589 高齢化の 期間の 極的な言	扶助費 の影響も 短縮に指導	内容	気が上[全受給者]	句きて	2 1	,355 ,776 44 534	5,630 6,110 1,772 1,748 増加
県支出 市債で 一般則 IV 評価 ①課題(出金(千円) その他(千円) 対源(千円) i・検討 目的に対す	1,874,694 44,772 325,384 保護世帯の増減に傾向にある。また2	1,761,199 48,394 498,996 ま景気に左右される年金受給権取得にのため年金受給に	が要っているが、要するが、	金額(干 2,3 、近年は ける資格!	-円) 08,589 高齢化の 期間の 類極的な調	扶助費の影響も短縮に伴	内容	気が上[全受給者]	句きてが増え	2 1	,355 ,776 44 534 ても	5,630 6,110 1,772 1,748 増加
県支比 市債で 一般則 1V 評価 ①課題(る現状な ②評価 ③上記記	出金(千円) その他(千円) け源(千円) i・検討 目的に対す など) 平価の理由	1,874,694 44,772 325,384 保護世帯の増減に傾向にある。またされ、扶助費削減 i 市関与の妥当性 ii 有効性 景気の動向にのの上に自立の	1,761,199 48,394 498,996 は景気に左右される 年金受給権取得に のため年金受給に 3高い 3高い より就労自立が 見込みが低いた	が要っし iii iv 見。	金額(千 2,30 近年は がるでの で の で の で の の の の の の の の の の の の の	- 円) 08,589 高齢化の 期間の を 一 方、 護	扶助費 の影響は 3高高 3高齢者	内容あり、景金が、求めが来めら	気が上げ受給者にいる。	うきでが増え 評価 3請が	2 1 であっこ 6精 i	,355 ,776 44 534 ても: とも	5,630 5,110 1,772 1,748 増加 検証
県支比 市債で 一般則 1V 評価 ①課題(る現状な ②評価 ③上記記	出金(千円) その他(千円) け源(千円) i・検討 目的に対す など) 平価の理由	1,874,694 44,772 325,384 保護世帯の増減に傾向にある。またされ、扶助費削減 i 市関与の妥当性 ii 有効性 景気の動向にる	1,761,199 48,394 498,996 は景気に左右される 年金受給権取得に のため年金受給に 3高い 3高い より就労自立が 見込みが低いた	が要っし iii iv 見。	金額(千 2,30 近年後ので 近ので で で の で の で の で の で の で の で の で の	- 円) 08,589 高齢の欠 高齢の欠 で ・ 大護 ・ 元 ・ 元 ・ 元 ・ 元 ・ 元 ・ 元 ・ 元 ・ 元 ・ 元 ・ 元	扶助費 の影響に 3高高 3高齢帯の 3高齢帯の	内容あい、ま金が、景金が一世支援に	気が上に会合れる。マ総合の保護申でいて	可きでが増え 評価 計方を表する。	2 1 1 であっこ 6精 が高で	,355 ,776 44 534 てもも たも	5,630 5,110 1,772 1,748 増加 検証
県支比市債 一般則 1以評価 1、課題(る現状なる 2、評価 3、上記記 ソタ額	出金(千円) その他(千円) け源(千円) i・検討 目的に対す など) 平価の理由	1,874,694 44,772 325,384 保護世帯の増減に傾向にある。またされ、扶助費削減 i 市関与の妥当性 ii 有効性 景気の動向にのの上に自立の	1,761,199 48,394 498,996 は景気に左右される 年金受給権取得に のため年金受給に 3高い 3高い より就労自立が 見込みが低いた	が要つい iii iv 見:か	金額(千 2,30 近年後ので 近ので で で の で の で の で の で の で の で の で の	- 円) 08,589 高齢化の 期間的な 記 一 方 、 護 況 式28年	扶助費 の影響は 3高高 3高齢者	内容あり、景金いが求めら世帯のに	気が上に会合れる。マ総合の保護申でいて	向が増え 評価 は位;	2 1 1 であっこ 6精 が高で	,355 ,776 44 534 てもも たとも か 行う	5,630 5,110 1,772 1,748 増加 検証
県支比市債 市債 一般則 ①課題(る現状など) ②評価 ③上記記 V 多額 ①平成2	出金(千円) その他(千円) け源(千円) i・検討 目的に対す はど) 平価の理由	1,874,694 44,772 325,384 保護世帯の増減に傾向にある。またされ、扶助費削減 i 市関与の妥当性 ii 有効性 景気の動向にのの上に自立の	1,761,199 48,394 498,996 は景気に左右される 年金受給権取得に のため年金受給に 3高い 3高い より就労自立が 見込みが低いた	が要つい iii iv 見:か	金額(干 2,30 ・近るでで ・近るでの ・でで ・でで ・でで ・でで ・でで ・でで ・でで ・でで ・でで ・	- 円) 08,589 高齢化の 期間的な 記 一 方 、 護 況 式28年	扶助費 の影解に指する 3高齢帯の まず、1のである。 では、1のでは、1のである。 では、1のでは、1のでは、1のでは、1のでは、1のでは、1のでは、1のでは、1の	内容あり、景金いが求めら世帯のに	気が上に会合れる。マ総合の保護申でいて	向が増え 評価 は位;	2 1 1 5 6 6 6 7 8 8 8 8 8 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	,355 ,776 44 534 てもも たとも か 行う	5,630 5,110 1,772 1,748 増加 検証
県支比市債 市債 一般則 ①課題(る現状など) ②評価 ③上記記 V 多額 ①平成2	出金(千円) その他(千円) け源(千円) i・検討 目的に対す など) 平価の理由 の経費を要す 8年度の計画 対する事業実績	1,874,694 44,772 325,384 保護世帯の増減に傾向にある。またされ、扶助費削減 i 市関与の妥当性 ii 有効性 景気の動向にのの上に自立の	1,761,199 48,394 498,996 は景気に左右される 年金受給権取得に のため年金受給に 3高い 3高い より就労自立が 見込みが低いた	が要つい iii iv 見:か	金額(干 2,30 ・近るでで ・近るでの ・でで ・でで ・でで ・でで ・でで ・でで ・でで ・でで ・でで ・	- 円) 08,589 高齢化の 期間的な 記 一 方 、 護 況 式28年	扶助費 の影響に指導 3高高齢帯の 事類 事初	内容あり、景金いが求めら世帯のに	気が上に会合れる。マ総合の保護申でいて	向きで が増 語 た 検 記 検 記 と と と と と と と と と と と と と と と と	21 で 1 で 2 で 3 で 3 で 4 に 5 に 5 に 7 に 7 に 7 に 7 に 7 に 7 に 7 に 7	,355 ,776 44 534 てもも たとも か 行う	5,630 5,110 1,772 1,748 増加 検証

<被保護世帯数(年度末現在)>

被保護	被保護	保護率	世帯類型別被保護世帯数						
世帯数	人員	(‰)	高齢者世帯	母子世帯	傷病・障が い者世帯	その他			
993世帯	1,334人	12. 24	492世帯 (49.5%)	64世帯 (6.5%)	307世帯 (30.9%)	130世帯 (13.1%)			